

第3学年 総合的な学習の時間(人権) 学習指導案

1 主 題 出会い・ふれ合い・支え合い ～おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなるう～

2 主題設定の理由

3 ねらい

地域の高齢者との交流を通して、高齢者の思いや願いを理解するとともに、高齢者の人権を尊重し、共に生きていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

○道徳「よもぎ荘との交流」(ひかり)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

○総合的な学習の時間

「出会い・ふれ合い・支え合い ～おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなるう～」

・おじいちゃん・おばあちゃんになってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

・おじいちゃん・おばあちゃんにインタビューしよう・・・・・・・・・・・・ 4時間

(2) 現在の学習

○総合的な学習の時間

・「ふれあい会パート1」をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間(本時6/6)

(3) これからの学習

○総合的な学習の時間

・「ふれあい会パート2」をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8時間

(交流活動を重ねる中で、高齢者と関わり、つながることの楽しさや喜びを実感するとともに、互いに支え合って生きていこうとする態度を育てる。)

○児童会活動「人権集会」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

(高齢者との交流体験から、学んだことや自分たちにできることを発表し、広く伝えようとする態度を育てる。)

5 本時の学習

(1) 目 標

1回目の交流会を振り返り、さらに高齢者の方々と共に楽しむ交流会にするために、高齢者の方に寄り添い、自分たちにできることを考え、実践しようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 共に生きる

個人権課題名 高齢者

(3) 展 開

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、学習課題をつかむ。 | ○前時までの活動を想起させ、学習の方向付けをする。 |
| おじいちゃん、おばあちゃんと共に楽しむふれあい会にしよう。 | |
| 2 1回目の交流会でのグループ活動を振り返り、感じたことや考えたことを話し合う。 | ○写真を提示し、これまでの体験や1回目の交流会の様子を想起できるようにする。 ○活動の内容や方法について、よかったところと困ったところの両面から振り返らせる。 ○困った原因や解決の方法について、高齢者疑似体験など関連づけて考えさせる。② |
| 3 ゲストティーチャーの話聞く。 | ○高齢者の方からの手紙や交流の感想を聞くことで、2回目の交流への意欲につなげる。 |
| 4 さらに高齢者の方と共に楽しむ交流活動になるようグループで話し合う。 | ○職員の方のアドバイスを生かして、高齢者に寄り添った活動内容を考えさせる。① |
| 5 本時のまとめをする。 | ○振り返りをして、次時への意欲付けをする。 |

(4) 評 価

・高齢者の方に寄り添って自分たちにできることを考え、実践しようとする意欲を高めることができたか。【価値的・態度的側面①】

・高齢者の立場に立って意見を言ったり、友達の意見を聴いたりすることができたか。

【技能的側面②】